

回転板式 塵芥収集車

架装物解体マニュアル

本解体マニュアルは一般的な解体例を示します。  
本解体マニュアルに掲載された図は、一般的な例を示し実体と異なる場合があります。

平成16年4月1日

富士重工業株式会社  
エコテクノロジーカンパニー

本マニュアルは、架装物の解体に関して、『適正で効率的な作業』や『責任ある使用済み架装物処理方法』を案内し、使用済み架装物処理の各段階で適正且つ安全に処理するための手順をまとめました。

なお、本情報は解体に関する参考資料として提出するもので、実際の解体作業におかれましては解体事業者の判断で行って下さい。

## 1. 解体マニュアルの考え方

解体した架装物が、資源として効率的に有効活用が行えるよう情報を提供致します。

## 2. 作業上の注意

- 1) 作業を安全に行うため、定められた作業服、作業帽、安全靴を着用し、作業内容に応じて保護メガネ、耳栓、防塵マスク等の保護具を着用して下さい。
- 2) 高所作業については、安全帯、足場の確保等転落防止処置を講じて下さい。
- 3) 燃料系及び作動油等の除去・回収に当っては消防法を遵守し、引火・爆発が発生しない環境下及び方法で行って下さい。
- 4) 油脂・液剤系の回収に当っては、地下浸透や施設外流出が発生しない環境下及び方法で行って下さい。
- 5) タンク等の解体時は事前に有害物質等の除去・洗浄が完全に行われていることを確認し、安全を確保した上で作業して下さい。

- 警告・危険事項**
- 1) 挟まれる恐れがあるため、クランプしたホデーやテールゲートの下に入り込まないで下さい。
  - 2) 火災の恐れがあるため、可燃物の近くで溶断・切断等の作業を行わないで下さい。

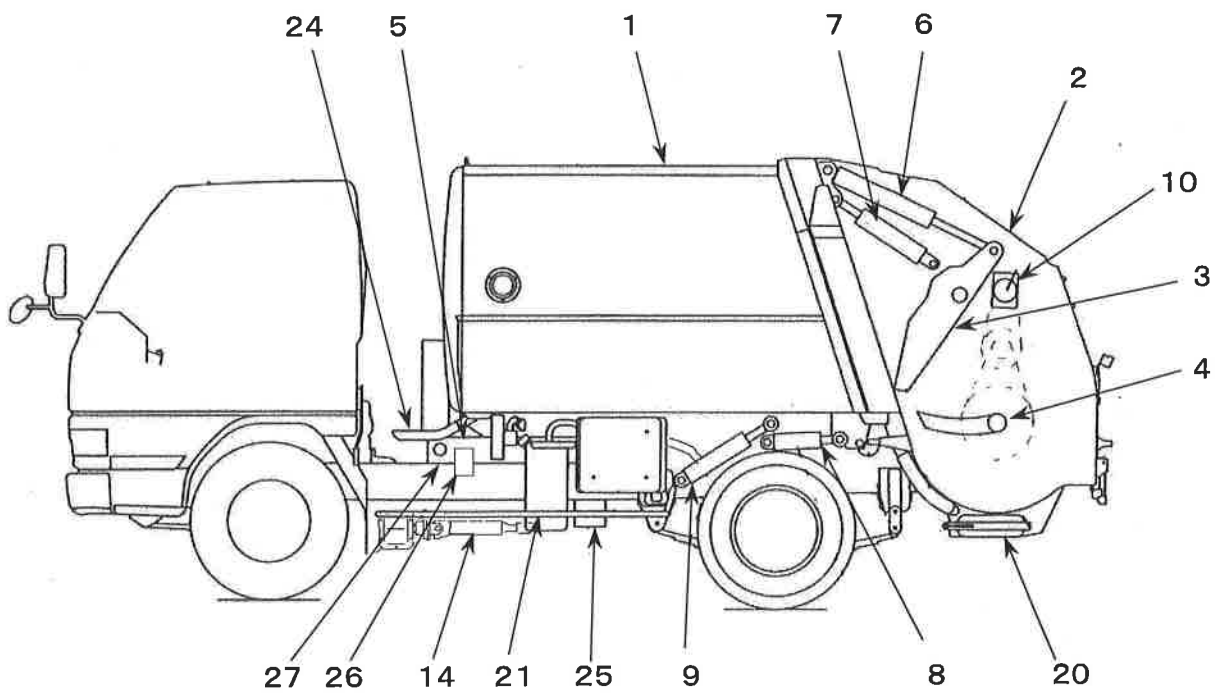
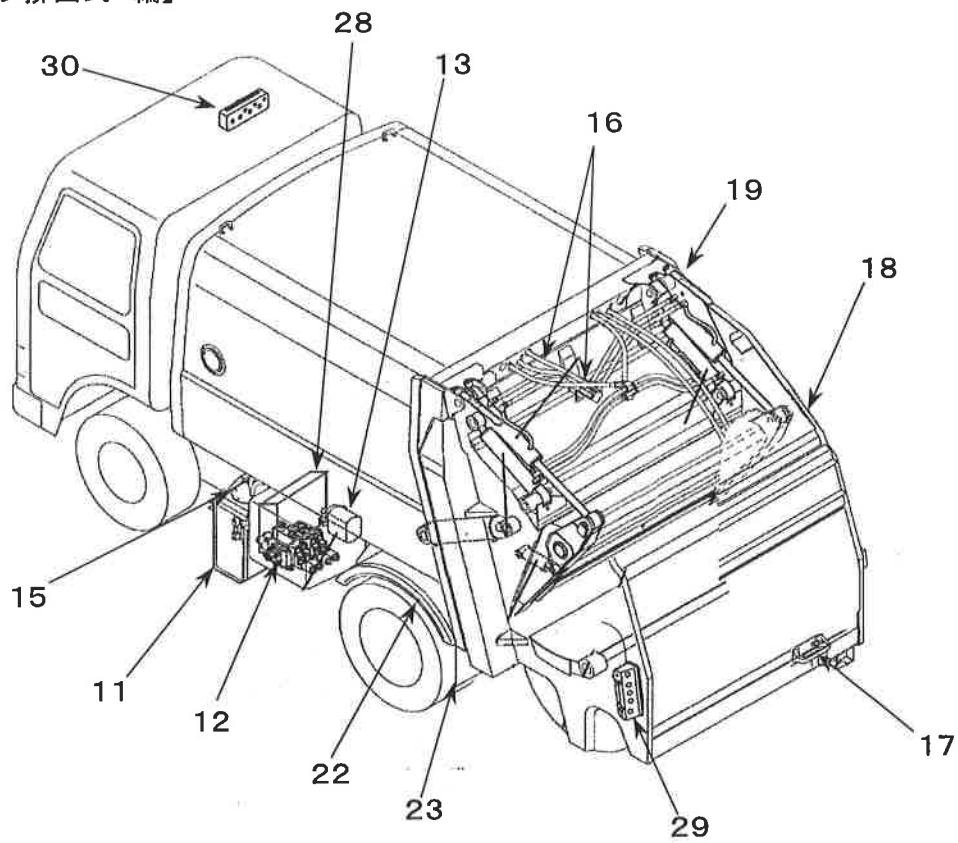
## 回転板式 塵芥収集車 架装物解体マニュアル

## 【回転板・ダンプ排出式 編】

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理Ⅰ	ボデー、テールゲート内の積込物を廃棄し、清掃して下さい。	焼却場等の指定の場所で廃棄して下さい。積込物によっては車両を消毒して下さい。
	事前処理Ⅱ	主要な外装部品を取り外して下さい。	
	事前処理Ⅲ	作動油タンク内の作動油を抜いて下さい。	作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
1	ボデー	溶断、切断により、裁断して下さい。	
2	テールゲート	溶断、切断により、裁断して下さい。	
3	ラムパネル	溶断、切断により、裁断して下さい。	
4	コンベアパネル	溶断、切断により、裁断して下さい。	
5	サブフレーム	溶断、切断により、裁断して下さい。	
6	ラムシリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
7	リフトシリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
8	自動ロックシリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
9	ダンプシリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
10	油圧モータ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
11	作動油タンク	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
12	コントロールバルブ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
13	オイルポンプ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
14	プロペラシャフト	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
15	リターンフィルタ	ゴム類と金属類に分別して下さい。	
16	油圧ホース	ゴム類と金属類に分別して下さい。	
17	ホップードア	溶断、切断により、裁断して下さい。	
18	テールゲートカバー	溶断、切断により、裁断して下さい。	
19	アッパーカバー	金属類とキャンバスシートに分別して下さい。	
20	汚水タンクフタ	ゴム類と金属類に分別して下さい。	
21	サイドガード	溶断、切断により、裁断して下さい。	
22	フェンダ	溶断、切断により、裁断して下さい。	
23	マッドガード	ゴム類と金属類に分別して下さい。	
24	スペアタイヤキャリア	溶断、切断により、裁断して下さい。	
25	オイルポンプブラケット	溶断、切断により、裁断して下さい。	
26	マウンティングブラケット	溶断、切断により、裁断して下さい。	
27	フレームスペーサ	取外し分別して下さい。	
28	コントロールボックス	金属類、樹脂類、電線類、ゴム類に分別して下さい。	
29	テールゲート操作盤	金属類、樹脂類、電線類、ゴム類に分別して下さい。	
30	電装部品	金属類、樹脂類、電線類、ゴム類に分別して下さい。	

# 回転板式 塵芥収集車 架装物解体マニュアル 各部品目

## 【回転板・ダンプ排出式 編】



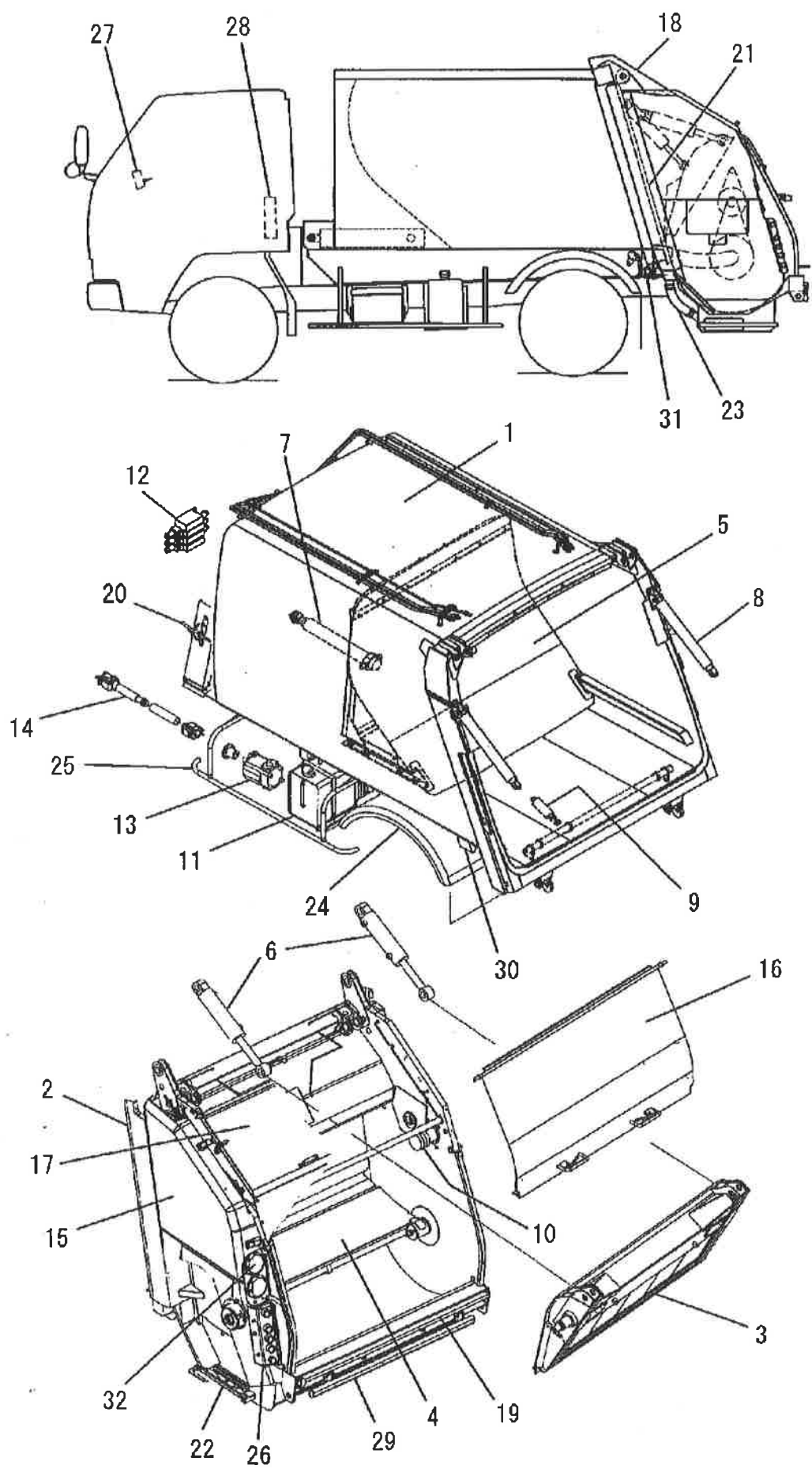
## 回転板式 塵芥収集車 架装物解体マニュアル

## 【回転板・押出排出式 編】

品目番号	品目名	解体方法	注意事項
	事前処理 I	ボデー、テールゲート内の積込物を廃棄し、清掃して下さい。	焼却場等の指定の場所で廃棄して下さい。積込物によっては車両を消毒して下さい。
	事前処理 II	主要な外装部品を取り外して下さい。	
	事前処理 III	作動油タンクの作動油を抜いて下さい。	作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。作動油のこぼれに注意して下さい。
1	ボデー	溶断、切断により、裁断して下さい。	
2	テールゲート	溶断、切断により、裁断して下さい。	
3	ラムパネル	溶断、切断により、裁断して下さい。	
4	コンベアパネル	溶断、切断により、裁断して下さい。	
5	排出板	溶断、切断により、裁断して下さい。	
6	ラムシリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
7	排出シリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
8	リフトシリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
9	自動ロックシリンダ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
10	油圧モータ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
11	作動油タンク	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
12	コントロールバルブ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
13	オイルポンプ	内部の油を抜き取り、樹脂類と金属類に分別して下さい。	作動油のこぼれに注意して下さい。
14	プロペラシャフト	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
15	サイドカバー	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
16	ホッパードア	溶断、切断により、裁断して下さい。	
17	テールゲートカバー	溶断、切断により、裁断して下さい。	
18	アッパーカバー	金属類とキャンバスシートに分別して下さい。	
19	案内板	溶断、切断により、裁断して下さい。	
20	スペアタイヤキャリア	溶断、切断により、裁断して下さい。	
21	ラバーシール	ゴム類と金属類に分別して下さい。	
22	汚水タンクフタ	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
23	ホース	ホースと金属類に分別して下さい。	
24	フェンダ	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
25	サイドガード	溶断、切断により、裁断して下さい。	
26	テールゲート操作盤	樹脂類、ゴム類、金属類、電線類に分別して下さい。	
27	操作スイッチ	樹脂類、金属類、電線類に分別して下さい。	
28	コントロールボックス	樹脂類、金属類、電線類に分別して下さい。	
29	緊急停止スイッチ	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
30	インターロックスイッチ	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
31	安全確認スイッチ	樹脂類と金属類に分別して下さい。	
32	テールランプ	樹脂類、ゴム類、金属類、電線類に分別して下さい。	

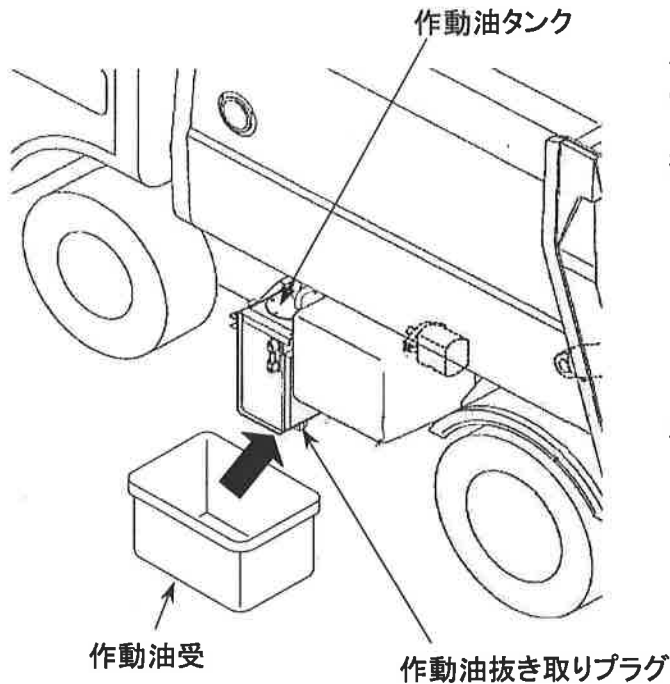
回転板式 塵芥収集車 架装物解体マニュアル 各部品目

【回転板・押出排出式 編】



## 回転板式 塵芥収集車解体マニュアル 作動油抜き取り方法

## ● 2トン・3トン車 作動油抜き取り方法



作動油タンクの下に十分な容量の作動油受けを入れ、作動油タンクの下面にある「作動油抜き取りプラグ」を取外し作動油を抜き取って下さい。

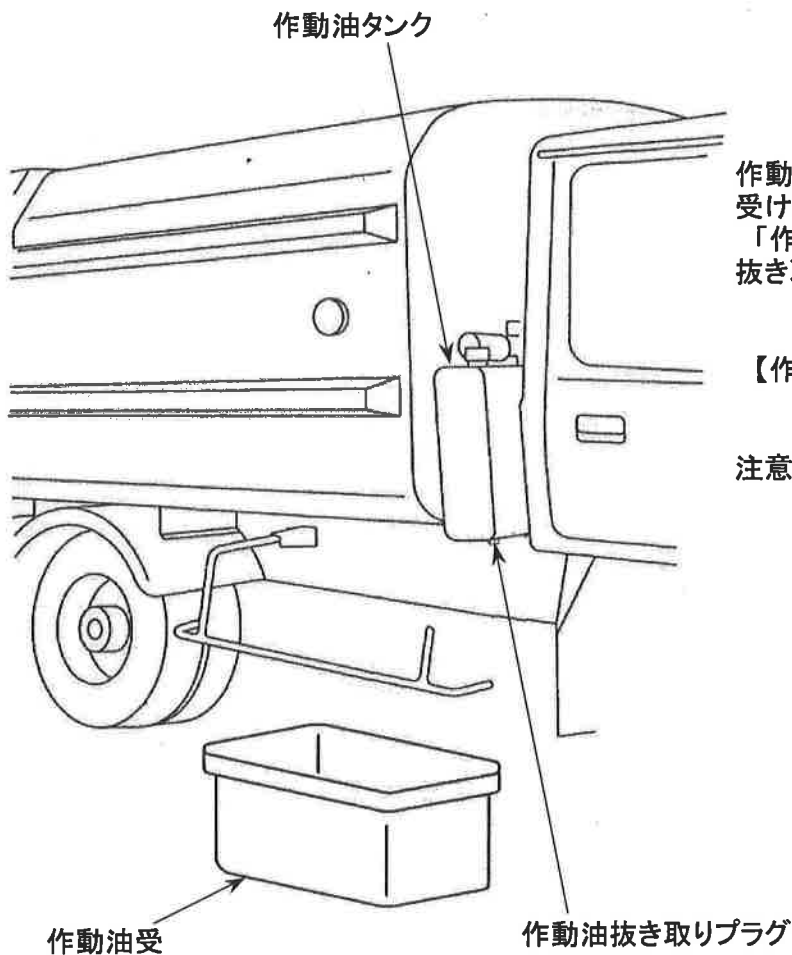
## 【作動油量】

2トン車 30～40ℓ

3トン車 35～45ℓ

注意：作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。

## ● 4トン車 作動油抜き取り方法



作動油タンクの下に十分な容量の作動油受けを入れ、作動油タンクの下面にある「作動油抜き取りプラグ」を取外し作動油を抜き取って下さい。

## 【作動油量】

4トン車 40～50ℓ

注意：作動油を抜き取る際は、屋根のある所で行って下さい。

上記の作動油タンクの取付位置・作動油の量は一般的な例であり、具体的な取付位置と量は車両毎に異なる場合があります。

## 環境負荷物質について

本架装物には下記の環境負荷物質が含まれます。確実に分離し適正な処理に努めて下さい。

物質	部品/材料	重量
鉛	バルブ、エンジン増速装置封印部	3.6g/個

## 問い合わせ先

本解体マニュアルに関する問い合わせは下記宛までお願い致します。

富士重工業株式会社  
エコテクノロジーカンパニー  
〒320-8564  
栃木県宇都宮市陽南1-1-11  
TEL 028-684-7825  
FAX 028-684-7829